

こんぺいとう通信 2022 9

教室のみなさん、こんにちは (^^)J
長い間お休みしていたこんぺいとう通信ですが、久しぶりの復活です。次に発行されるのはひょっとしたら30年後ぐらいかもしれないので、気合を入れてお読みくださいね～～(^^)

.....
今回は「パソコンの寿命」について書いてみようと思います。パソコンを購入したばかりの生徒さんからは「センサー、パソコンってどれぐらいの期間使えるものですか?」とよく聞かれることがあります。お気持ちはとてもよくわかります。せっかく高いお金を出して購入したパソコンですから、少しでも長く使いたいですよね。

その時に私はいつも「人間の寿命と一緒にですよー」とお答えしています。

「センサー、パソコンが好きすぎて馬鹿になっちゃったんじゃないの〜?」「パソコンを擬人化してるなんて、ちょっとヤバい人〜」

いやいや、そうじゃないんですよ。まあ、おバカなのはそのとおりなんですけどね (^^)

--*-*-*-*-*-*-*-*-*-*-*-*-*-*
パソコンの寿命という、2つの意味合いが考えられます。1つは文字通りの寿命、壊れないでどれぐらいの期間使い続けられるかということです。

パソコンは多くの部品が組み合わさって構成されています。ノートパソコンで言えば、筐体(体)にはCPU・HDD(SSD)・メモリ・ディスプレイ・光学ドライブなどが内蔵されています。これらは機械ですから、当然いつかは壊れますが、部品によっては修理して使い続けることもできます。寿命を延ばすことも可能だということです。

--*-*-*-*-*-*-*-*-*-*-*-*-*-*
上にあげた部品ですが、壊れやすい部品とそうでないものがあります。壊れやすいのは、やはり回転

するなど物理的な動作をするもので、HDD や光学ドライブなどです。パソコンが動作している間は常に高速で回転を続ける HDD は、特に壊れやすいと言えるでしょう。もっとも最近では HDD の代わりに高速な SSD という部品が使われる機種が多くなっていますので、少し事情は変わってきていますが。

HDD が故障した場合は(機種にもよりますが)同じ規格の HDD を購入して入れ替え、リカバリディスクなどを使って購入時の状態に戻すことも可能です。

--*-*-*-*-*-*-*-*-*-*-*-*-*-*
光学ドライブ(DVD やブルーレイ)が故障した場合はその機能が使えなくなるだけで、パソコンとして使い続けることはできます。必要であれば外付けの光学ドライブを購入すれば事足ります。

--*-*-*-*-*-*-*-*-*-*-*-*-*-*
ディスプレイが故障して何も映らなくなったり画面表示がおかしくなったりした場合には、外付けのディスプレイや液晶テレビにつなぐことで、やはりパソコンとして使うことは可能です。

一方で CPU やマザーボードが故障した場合は打つ手がありません。修理か即買い替えです。

--*-*-*-*-*-*-*-*-*-*-*-*-*-*
で、いつ壊れるかですが、それはだれにもわかりませんw 買って3日後に壊れることもあるでしょうし、10年たっても故障しないパソコンもあります。それが「人間と同じ」という意味です。まあ最悪なのは保証期間が切れたとたんに壊れるってやつです。こっちもキレちゃいますね (^^)

--*-*-*-*-*-*-*-*-*-*-*-*-*-*
ところで、パソコンの寿命を延ばすために上にあげた方策がベストかと言えば、それは別問題です。

HDD の交換はかなりの知識とスキルが必要ですし、光学ドライブやディスプレイの置き換えは簡単ですが、使い勝手は落ちるでしょう。持ち運びがしたく

てノートパソコンを購入した方は、常に液晶モニターやテレビと接続して「据え置き型」のパソコンとして利用しなければなりません。

光学ドライブはそれほど手間はかかりませんが、故障して役立たずになった装置をくっ付けたまま…というのは気分的にもよくありません。光学ドライブの重量はいつもついて回るわけですね。

--*-*-*-*-*-*-*-*-*-*-*-*-*-*
 そしてなによりも、購入してから年月の経った旧型のパソコンに修理費をかけるのが妥当かどうかは検討しなければなりません。パソコンは進歩が速く最新技術はすぐに陳腐化しますからね。それが2つ目の寿命の意味です。たとえどこも故障していなくても、動作が遅いなーと感じるようになればそれはそろそろ買い替えの時期、寿命と言っていいでしょう。長々と書きましたが、結論としてはこんなところでしょうか。

- 1) 購入後2～3年の比較的新しいパソコンで、購入金額もそれなりに高かったのであれば、まずは修理を検討してみましよう。
 ただし故障箇所により、修理代金は異なります。実際にメーカーに見積もりを取って、修理費用に納得ができれば修理しましょう。なにしろ高いパソコンを購入したのですから。
- 2) 比較的新しいパソコンであっても、購入金額が12万円前後であれば、修理費用と買い替えの費用を比較して、よく考えるべきでしょう。
- 3) それ以上長くお使いのパソコンであれば、基本的に修理はお勧めしません。買い替え一択です。この記事を書くにあたり、ちょっと某メーカーの修理料金表を見てみたのですが、あまりに高額なため目が丸くなりました。もちろん決して法外な料金設定とは思いませんが、それにしても…お高いです。例えばメインボードやメモリ、CPUの修理 [約6万円]、液晶画面の修理 [約7万円]、HDDの修理 [約7万円]、光学ドライブ [約5～7万円] …しかもこのメーカーの場合は、修理をせずにキャンセルした場合には診断・見積り料として6,600円を請求するとあります（見積りや診断にもそれなりの手間暇がかかりますから、費用が発生するのも理解はでき

ますけどね)。
<https://support.nec-lavie.jp/navigate/support/repair/guide/expense/index.html>
 仮に修理費に7万円かかるとして、調べてみると7万円台で購入できるパソコンも数製品ありました。性能的にもまあまあの製品でです。こうなると、修理するアドバンテージがだいぶ下がってきますね。

--*-*-*-*-*-*-*-*-*-*-*-*-*-*
 私自身はどちらかというと、人にも物に対しても、とても愛着を感じるタイプです。身に着けるものや日用品でも、一度使い始めたものは長く大切に使用したいと思っていますし、なかなか捨てることができずに困っているぐらいです。

ただパソコンやスマホのような情報家電というのはその性質上、どうしても性能がよくなければ使い物になりません。これが自動車であれば、たとえどんなに古くても整備さえしてあれば車としての役割は問題なく果たすことができます。燃費が悪かったり安全性能に問題があったり、エアコンがついていなかったり、窓は手でぐるぐるハンドルを回したり…などなど快適とは程遠くても、です。時折、とても懐かしい車が走っているのを見かけますが、そのオーナーさんはよほどその車が気に入ってるんだろうなあと思います。

でも私がどんなに手元のパソコンに愛着を感じていたとしても、電源ボタンを押してから動くようになるまで10分も待たされ、文字を入力して変換するたびに「しばらくお待ちください」の砂時計が表示され、こんぺいとう通信を完成させるのに数週間もかかるようなパソコンを使い続けるのはさすがに無理です。パソコンは趣味の道具ではなく実用品なのでね。今回はパソコンを買い替えたおかげで、ようやくこんぺいとう通信をお届けできました(ウソ)。ちなみに私の人生初のパソコンはこれです⇒
 当時24万8千円、初めてのボーナスで買った思い出のPCです。とても懐かしいです。

